

「大陸にわたった人々・聖徳太子の理想」 教科書 P90～

めあて

ノートにタイトル（「大陸にわたった人々・聖徳太子の理想」）と、めあてを書きます。

めあて：聖徳太子はどのような政治を行ったのだろう。

《学習の流れ》

① 教科書 P90～91 を声に出して読みましょう。その後、下のコラムを読みましょう。

中国や朝鮮半島から日本に移り住んで、進んだ技術や仏教の教えを伝えた人たちのことを「渡来人」ということを勉強してきました。当時の中国は、日本よりもずっと進んだ文化をもっていたんですね。

7～9世紀になると、今度は逆に日本から中国に出向いて、進んだ文化を勉強して日本に持ち帰ろうとした人たちが増えてきます。**遣隋使（けんずいし）**や**遣唐使（けんとうし）**と呼ばれる人たちです。「隋」や「唐」というのはどちらも中国の昔の国名です。遣隋使や遣唐使には、朝廷から任命された優秀な人たちや、留学生、お坊さんなどがいました。

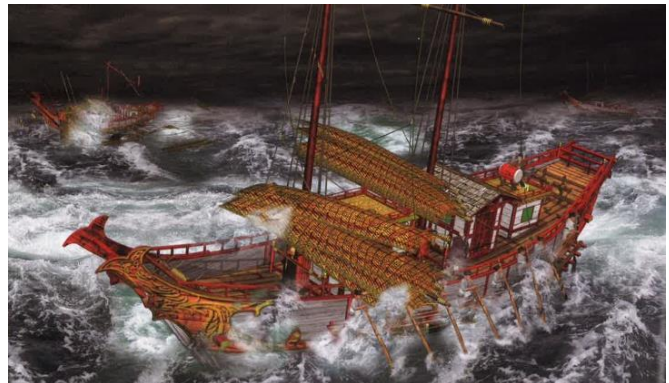
P90資料ア・イ・ウを見てください。

当時は当然、飛行機なんてありませんから、船を使って中国に渡りました（エンジンだってありません、手こぎです！）。

片道何百 km という距離。大変ですよ。

本当に、命がけの渡航でした。

そこまでしてでも中国から学んだ「進んだ政治や文化」ってどんなものがあったのかを学んでいきます。



② 教科書 P92～93 を声に出して読みましょう。その後、下の問題に答えます。

調べる学習

答えはすべてノートにポイントとしてまとめます。

大事だと思う言葉は、赤えんぴつで書きましょう。

① 6世紀の終わりに、天皇を中心とした日本をつくるため、蘇我氏とともに 様々な政治の改革を行った右の写真の人物はだれですか。



② ①の人物がつくった、「家がらにとらわれずに、能力のある人を役人に取り立てるしくみ」を何といいますか。

（このしくみの中で、役人を12のランクに分け、かんむりの色で区別しました）

- ③ ①の人物がつくった「政治を行う役人の心構え」をしめしたものを何といいますか。
- ④ この頃、大きな力をもっていた中国（当時の名前は「隋^{ずい}」）から、日本よりも進んだ政治のしくみや文化を学ぶために送られた使いのことを何といいますか。
- ⑤ ④の代表的人物の名前を書きましょう。
- ⑥ ①の人物は、人々の心をまとめるため、中国から学んだある宗教を重んじ、たくさんのお寺を建てました。
その宗教の名前と、
代表的なお寺の名前（右の写真）を書きましょう。



※この建物は奈良県にあります。
今も残っている木造建築物としては世界最古のもので、
607年に建てられました。
世界遺産にも登録されています。

考える学習

答えはすべてノートにポイントとしてまとめます。
大事だと思う言葉は、赤えんぴつで書きましょう。

聖徳太子の「十七条の憲法」では、

- 第一条 人の和を大切にしなさい。
第二条 仏の教えを厚くうやまいなさい。
第三条 天皇の命令には、必ずしたがいなさい。
第五条 裁判は、公平に行いなさい。
第十二条 地方の役人が勝手に税を取ってはいけません。 (十七条のうち一部を紹介)

など、役人が守らなければいけない心がまえが示されました。
あなたは上の5つの中で、特に大切だと思うのはどの条文ですか。
1つ選び、選んだ理由を書きましょう。

まとめの学習

「聖徳太子」の活やくについて、パソコンやスマートフォンなどで「NHK for School」の動画で見てください。

番組名は、「歴史にドキリ 第2回 聖徳太子～新しい国づくり～」です。
分かったことや、大事だと思ったポイントは、ノートにメモしておきましょう

「大化の改新と新しい政治のしくみ」 教科書 P94～

めあて

ノートにタイトル（「大化の改新と新しい政治のしくみ」と、めあてを書きます。

めあて：聖徳太子の理想は、どのように引きつがれたのだろう。

《学習の流れ》 教科書 P94～95を声に出して読みましょう。その後、下の問題に答えます。

調べる学習

答えはすべてノートにポイントとしてまとめます。

大事だと思う言葉は、赤えんぴつで書きましょう。

- ① 645年、天皇中心の世の中を作るため、蘇我氏をたおしたのはだれとだれですか。

_____（のちの天智天皇）と_____（のちの藤原鎌足）

- ② ①の2人は、天皇中心の世の中を作るために、新しい政治を進めました。

この政治の改革を何と言いますか。

※この時から、「大化」という元号が使われ始めました。「大化」は、日本初の元号です。

最新の元号は「令和」ですね。

- ③ 最初の本格的な都は、694年、現在の奈良県につくられました。

しかしその後、710年に都をうつすことになりました。

中国（唐）の長安という都をまねしてつくられたこの都のことを何と言いますか。



- ④ 8世紀の（701年）に、中国（唐）にならってつくられた法律を何と言いますか。

- ⑤ 農民は、国から農地を貸しあたえられました。

その代わりに、義務として負担しなければいけなかったことにはどのようなことがありますか。

5つ書きましょう。

※5つのうちの1つ、「調」は、その地域の特産物を都に納めるきまりだった。

都に届けられる特産物には、どこの産地の何という品物かが記されていた荷札がつけられた。この荷札を「木簡」と呼ぶよ。

考える学習

答えはすべてノートにポイントとしてまとめます。

大事だと思う言葉は、赤えんぴつで書きましょう。



木簡 阿波国は今の徳島県、伊豆国は今の静岡県です。

蘇我氏のような、その時の実力者がかわるがわるの中心になっていく社会と、天皇のような、同じ血すじの人が中心になる社会とでは、それぞれ良さ（または問題点）があると考えられます。あなたはどちらがよいと思いますか。理由もつけて考えをまとめましょう。

「聖武天皇と大仏づくり」 教科書 P96～

めあて

ノートにタイトル（「聖武天皇と大仏づくり」）と、めあてを書きます。

めあて：大仏は、何のために、どのようにつくられたのだろう。

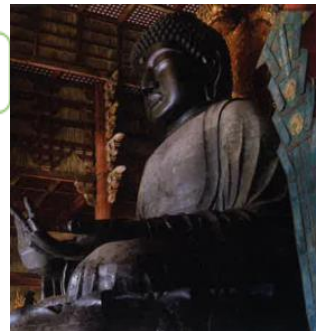
《学習の流れ》

教科書 P96～97 を声に出して読みましょう。その後、下の問題に答えます。

調べる学習

答えはすべてノートにポイントとしてまとめます。

大事だと思う言葉は、赤えんぴつで書きましょう。



① 右の写真は、現在の奈良県にある有名なお寺の大仏です。

この大仏があるお寺の名前を何といいますか。

※この大仏は、なんと高さ15m（4階建てマンションくらい）もあるそうです！

② 同じころ、全国各地に建てられたお寺のことを何といいますか。

③ ①や②を建てるよう人々に命じた当時の天皇（右の人物）の名前を何といいますか。



④ ③の人物に協力して、大仏づくりや仏教を広めるのに活やくした僧りよ（右の人物）の名前を何といいますか。



考える学習

答えはすべてノートにポイントとしてまとめます。

大事だと思う言葉は、赤えんぴつで書きましょう。

①大仏やお寺を作るのには、たくさんの人手や材料が必要でした。特に東大寺の大仏は、14年もかけて作ったそうです。そこまでして聖武天皇が仏教を広めようとしたのはなぜですか。

②あなたがこの時代に生きていたら、聖武天皇の大仏づくりに賛成ですか、反対ですか。理由もつけてまとめましょう。

まとめの学習

聖武天皇や行基の活やくを、パソコンやスマートフォンなどで「NHK for School」の動画で見てください。

番組名は、「歴史にドキリ 第3回 聖武天皇・行基～大仏はなぜ作られたか～」です。

分かったことや、大事だなと思ったポイントは、ノートにメモしておきましょう。

「海をこえた人やもの」 教科書 P98～

めあて

ノートにタイトル（「海をこえた人やもの」と、めあてを書きます。

めあて：日本は、大陸とどのように交流して、何を学んだのだろう。

前回の学習で、世の中の混乱を仏教によっておさめようとした聖武天皇について学びました。熱心に仏教を学ぶ人が増えればよいと考え、「僧になった人は税をはらわなくてよい」というきまりがつけられましたが、中にはそれを悪用し、勝手に僧を名乗っては修行をなまける者も出てきました・・・

そんな当時の様子を頭に入れて、教科書P98～99を読みましよう。

《学習の流れ》

教科書P98～99を声に出して読みましよう。その後、下の問題に答えます。

調べる学習

答えはすべてノートにポイントとしてまとめます。

大事だと思う言葉は、赤えんぴつで書きましよう。

- ① 正しい仏教の教えを広めるため、唐から日本にやってきた僧の名前を何といますか。



※前にも書いたとおり、当時日本～中国を行き来するためには、命がけの航海をする必要がありました。この人物も航海の途中、事故で目が見えなくなってしまいました。

- ② ①の人物が正しい仏教の教えを広めるため、奈良につくったお寺を何といますか。
- ③ 日本から、すすんだ中国（唐）の政治や文化を学ぶために命がけで海を渡った使いの人々のことを何といますか。

考える学習

答えはすべてノートにポイントとしてまとめます。

大事だと思う言葉は、赤えんぴつで書きましよう。

外国で出土した品々と、正倉院の宝物を見比べて、気づいたことや分かることはどんなことですか。資料①・②を見て考えたことを書きましよう。



「藤原道長と貴族の暮らし」教科書 P100～

めあて

ノートにタイトル（「藤原道長と貴族の暮らし・日本独自の文化が生まれる」と、めあてを書きます。

めあて：都の貴族は、どのような暮らしをしていたのだろう。

世の中の中心にいて、人々を支配する力をもつ人のことを「権力者」といいます。

これまで学習してきた時代の「権力者」は・・・

①縄文時代：狩猟・採集の時代。身分の差はなく、**権力者はいなかった**。

②弥生時代：稲作が始まり、たくわえをもつ者・指示する者が現れ始める。

→ **指導者**（**首長**）→ **豪族**・**王**

③古墳時代：**豪族**と、その中心の**大王**（後の天皇）。自分たちの権力を示す巨大な古墳を作った。

④飛鳥時代：**天皇**・**豪族**（特に**蘇我氏**）。蘇我氏は力もちすぎたため、大化の改新でほろぼされ、天皇中心の国づくりが進む。

⑤奈良時代：平城京など都が奈良に置かれた時代。**天皇**・**豪族**が力をもつ。

⑥平安時代：都が奈良→京都の平安京に移される。**天皇**・**貴族**（特に**藤原氏**）。

平安時代＝貴族が力をもつ時代、と頭に入れておいておこう。貴族とはどんな人たちでどんな暮らしをしていたのかを見ていきます。

〈学習の流れ〉

教科書P100～101を声に出して読みましょう。その後、下の問題に答えます。

調べる学習

答えはすべてノートにポイントとしてまとめます。

大事だと思う言葉は、赤えんぴつで書きましょう。

① 794年、都は奈良から京都に移されました。その都の名前を何といいますか。

② 都が京都に移ってからの時代を平安時代と呼びます。
平安時代に勢力をのびた人々のことを何といいますか。

③ ②の中でも、特に力をもっていた一族を藤原氏といいます。
藤原氏は、天皇に自分の娘を結婚させることでどんどんと力をつけました。
藤原氏の中でも、特に力をつけた右の人物はだれですか。



④ ③の人物は、だれに代わって政治を行うほど力をもちましたか。

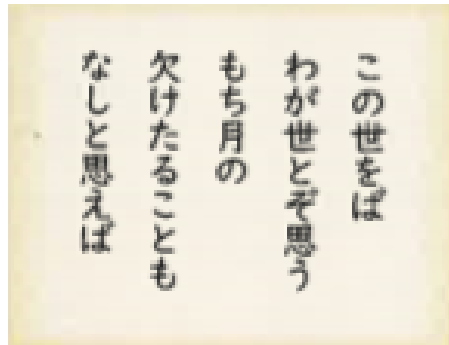


⑤ ②の人々が住んだ広い屋しきのことを何といいますか。

⑥ ②の人々が遊んだ遊びを2つ書きましょう。

考える学習

答えはすべてノートにポイントとしてまとめます。
大事だと思う言葉は、赤えんぴつで書きましょう。



これは、貴族たちの前で藤原道長がよんだ和歌です。道長は、どんな気持ちでこの和歌を歌ったと思いますか。

まとめの学習

ここまでの学習をふりかえろう。

「まとめプリントその3」を解き、答え合わせと見直しをしましょう。

まとめプリント その3

1 次の問題に答えましょう。

(1) 写真の人物の名前を書きましょう。



(2) この人物が行ったことと関係することがらを から選び、() に記号を書き入れましょう。

- () 家がらにとらわれずに、能力のある豪族こうぞくを役人に取り立てるしくみをつくった。
- () 新しい国づくりに向けての役人の心構えを示した。
- () 中国ちゅうごくに使者を送り、新しい政治のしくみや文化を取り入れた。
- () 仏教をさかんにした。

ア 法隆寺ほうりゅうじ イ 遣隋使けんずいし ウ 十七条の憲法けんぽう エ 冠位十二階かんいじゅうにかい オ 唐招提寺とうしょうだいじ

(3) 太子の死後、天皇中心の国づくりを引きついで、政治の改革かいかくを進めた2名の人物の名前を書きましょう。また、その改革は何といいますか。

人物

政治改革

2 へいじょうきょう平城京について、次の問題に答えましょう。

(1) 文章中の()にあてはまる言葉を、下の から選んで書き入れましょう。

8世紀に都として栄えた()は、今の()県にありました。この都は、()の都を見習ってつくられました。国の政治を行う役所が置かれ、およそ()人の人々が暮らしていました。

なら 奈良 きょうと 京都 ちょうせん 朝鮮 中国 へいあんきょう 平安京 平城京 10万 100万

- (2) 平城京のあとからは、右の写真のような木簡^{もっかん}が数多く出土しています。木簡には、地名や生産物名などが書かれています。このことから、都と地方とのつながりについて、どのようなことがわかりますか。



- 3 ^{とうだいじ} 東大寺の大仏について、次の問題に答えましょう。

- (1) この大仏をつくった^{てんのう}天皇と、大仏づくりに協力した^{そう}僧の名前を書きましょう。

天皇

僧

- (2) 大仏づくりに必要な大量な物資と、作業にあたる大勢の農民は全国から集められました。天皇はなぜ、大仏をつくらうと考えたのか、その理由を書きましょう。

(3) 東大寺にある^{しょうそういん}正倉院の宝物 (A) と外国で出土した品々 (B) を比べると、似ていることがわかります。その理由として、考えられることを書きましょう。

A



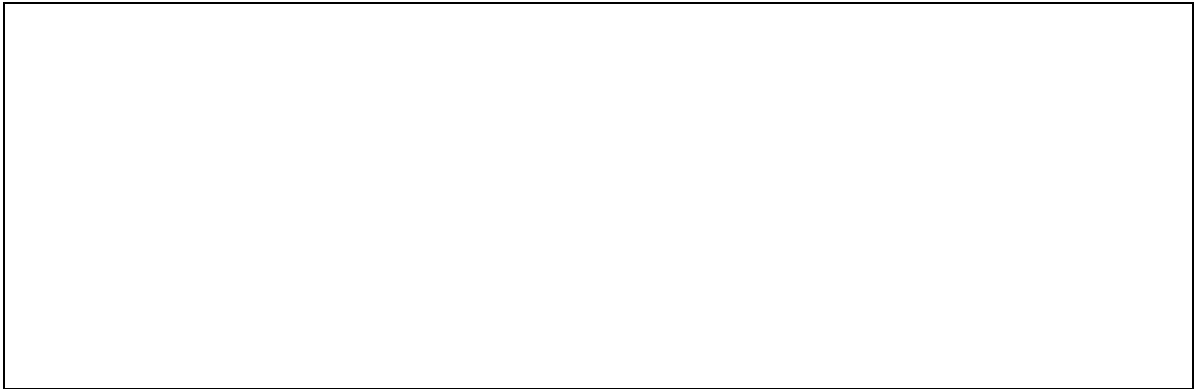
B



4 ^{きぞく}貴族の暮らしや^{ふじわらのみちなが}藤原道長について、次の問題に答えましょう。



(1) 貴族の屋しきの想像図を見て、気づいたことを三つ書きましょう。



(2) 貴族が住んでいた屋しきの建築様式のことを何といいますか。



(3) 藤原道長は、どのようにして天皇とのつながりを深めたのでしょうか。

